

令和元年度 横浜緑園高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

| 項 目 | 目 標 | 実施結果と目標の達成状況 |
|-----------------------------------|---------------------------------|--|
| 法令遵守意識の向上 | 常に公務員の自覚をもち、信用失墜行動を未然に防止する。 | 教職員の不祥事に関する新聞記事を掲示するなどして公務外非行防止の意識啓発を行うとともに、職員同士お互いに声を掛け合って円滑なコミュニケーションを図り、風通しのよい職場づくりに努めた。 |
| わいせつ・セクハラ行為防止 | 人権意識を高めセクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。 | セクハラ・わいせつ行為の加害者にならないよう、DVD等の啓発資料で研修を実施し、意識啓発を行った。教育実習生対象のセクハラ・わいせつ行為に関する説明会を開催した。 |
| 体罰、不適切な指導の防止 | 生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導を未然に防止する。 | 部活動中の事故対応について啓発資料などを活用して具体例を提示するとともに、研修会を実施して適切な指導を心がけた。「教育相談から見た効果的な特別指導」について研修を行い、不適切な指導を未然に防止した。 |
| 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 | 入学者選抜業務、成績処理、調査書発行等のミスを未然に防止する。 | 成績処理、調査書・進路関係書類発行にあたっては、マニュアルに沿って業務を行ない、確認・点検を徹底した。入力・点検時には、必ず複数で点検・確認した。成績処理に関する事故防止研修を職員会議で実施した。入学者選抜業務の研修を見直し、強化することで事故防止を実現した。 |
| 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策 | 個人情報を適切に取り扱い、情報の流出を未然に防止する。 | 情報セキュリティに関する啓発資料やチェックシートを職員に配付して、知識の定着を図るとともに、事故防止会議を実施して意識啓発を図った。個人情報を持ち出す際の「個人情報持ち出し許可願」による申請など、手続きの徹底を図った。 |
| 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守 | 法規遵守を徹底し、交通事故、飲酒運転を未然に防止する。 | 新聞記事や職員啓発資料などを活用して、朝の打ち合わせや職員会議、事故防止会議で交通事故・飲酒運転防止について意識啓発を図った。 |
| 業務執行体制の確保等 | 不適正な業務執行を未然に防止する。 | 発出文書について誤字・脱字の防止に努めるよう事故防止研修を行った。 |
| 会計事務等の適正執行 | 公費・私費・現金管理に関するトラブルや不祥事を未然に防止する。 | 「私費会計基準」「私費会計事務処理の手引」についての理解を深め、公正な予算編成と適切な会計処理に努めるとともに、私費会計、部費会計の取扱いに関する研修会を開催した。年2回会計監査を実施し、備品の現物照合を確実に行った。 |

○ 令和元年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和2年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

※ 令和元年度の不祥事ゼロプログラムについては、定例の職員会議で研修会を実施するとともに、取り急ぎ扱わなければならない議題については、臨時職員会議や朝の打ち合わせ、臨時の事故防止会議で注意喚起を行うなど、教職員の不祥事防止意識を継続して啓発してきた。

セクシュアルハラスメント防止を重点項目とし、DVD等の啓発資料を用いて研修会を実施し、事故防止に取り組んだ。

もう一つの重点項目である情報セキュリティについては、県からの啓発資料を用いて職員会議等で研修を行うとともに、教育課程検討会議のワーキンググループでも若手教員を中心に研修を行った。

不祥事ゼロプログラムを継続し、法令遵守意識の向上、個人情報等の管理、交通事故防止や交通法規の遵守、会計事務の適正執行など、一人ひとりが常に教育公務員としての高い意識を持つように指導してきたい。